

東海の花き



令和 5 年 3 月
東海農政局生産部
園芸特産課

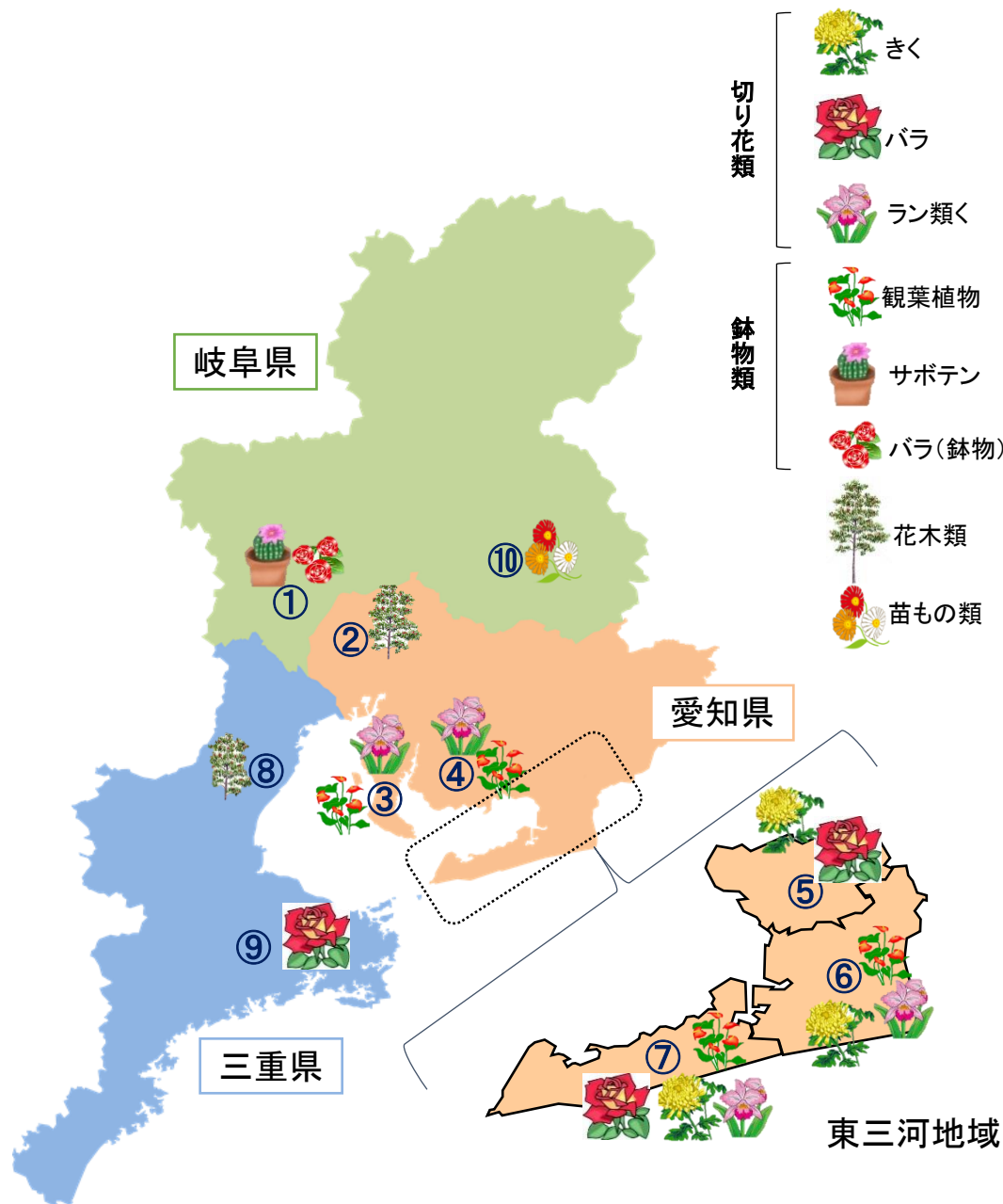
目 次

1 東海における花きの主な産地	1
2 花きの作付(収穫)面積・出荷量	2
3 花きの作付(収穫)面積の推移	3
4 花き園芸施設の設置状況	4
5 花きの産出額	5
6 花きの担い手	6
7 花きの収益性	7
8 花きの消費	8
(参考)東海地域花き普及・振興協議会の概要	9

1 東海における主な花き産地

○東海地域の主な花き産地については、

- 1 切り花類では、愛知県渥美半島を中心とした東三河地域における、きく、ばら
 - 2 鉢物類では、愛知県尾張(知多)、西三河地域、東三河地域を中心とした、洋ラン類、観葉植物
 - 3 花木類では、愛知県尾張や三重県北勢地域におけるサツキ、ツツジ、ツゲ
 - 4 鉢物では、岐阜県において、サボテンやバラで日本有数のシェアを誇る大規模法人が存在
- ① 岐阜地域 (岐阜県本巣市、北方町など)
 - ② 尾張地域 (愛知県稲沢市など)
 - ③ 尾張(知多)地域 (愛知県東海市など)
 - ④ 西三河地域 (愛知県西尾市など)
 - ⑤ 東三河地域 (愛知県豊川市など)
 - ⑥ 東三河地域 (愛知県豊橋市)
 - ⑦ 東三河(渥美)地域 (愛知県田原市)
 - ⑧ 北勢地域 (三重県鈴鹿市など)
 - ⑨ 伊勢地域 (三重県伊勢市など)
 - ⑩ 東濃地域 (岐阜県中津川市など)



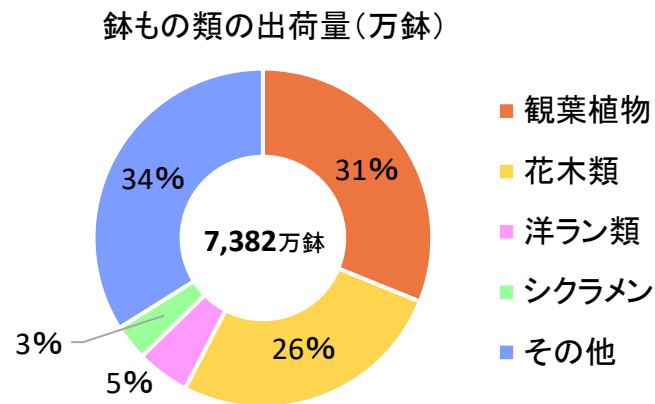
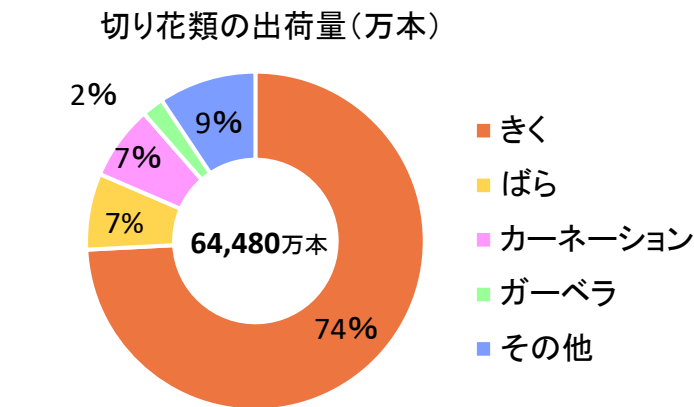
2 花きの作付(収穫)面積・出荷量

- 令和元年産の東海地域における花きの作付面積は、2,248haで全国の13%を占めている。また、東海地域全体の作付面積は、切り花類が75%、鉢ものの類が17%、花壇用苗ものが8%の割合となっている。
- 県別に見ると、愛知県は花きの国内最大の産地で、きく、ばら等の施設栽培が多い。また、作付面積は少ないものの、岐阜県では日本有数の大型法人によるサボテン、バラ等の鉢ものの生産が行われており、三重県では県北部を中心にサツキ、ツツジ等の花木(庭木)の栽培が多くなっている。
- 品目別の出荷量では、切り花類ではきくが7割以上を占め、鉢物類では観葉植物が約4割を占めている。

■主な花きの作付(収穫)面積(令和元年)

品 目	東 海	(単位:ha)			全 国	東海のシェア
		岐阜県	愛知県	三重県		
切り花類計	1,690	64	1,553	73	13,800	12%
き く	1,322	9	1301	11	4,490	29%
バ ラ	57	6	47	5	302	19%
鉢ものの類計	380	46	306	28	1,549	25%
洋ラン類	48	3	42	2	178	27%
観葉植物	105	8	86	11	271	39%
花木類	92	14	75	3	351	26%
花壇用苗もの	177	42	102	34	1,327	13%
パンジー	32	3	16	13	252	13%
花き 計	2,248	152	1,961	135	16,676	13%

■東海における花きの品目別出荷量(令和元年)



※ 資料:農林水産省「生産出荷統計(花き)(R1)第1報」
(注)花き調査は、全ての県を対象とした全国調査が3年周期で行われ、令和元年は全国調査年に当たる。
数値については、ラウンドのため、表中合計が内訳と合わない場合がある。

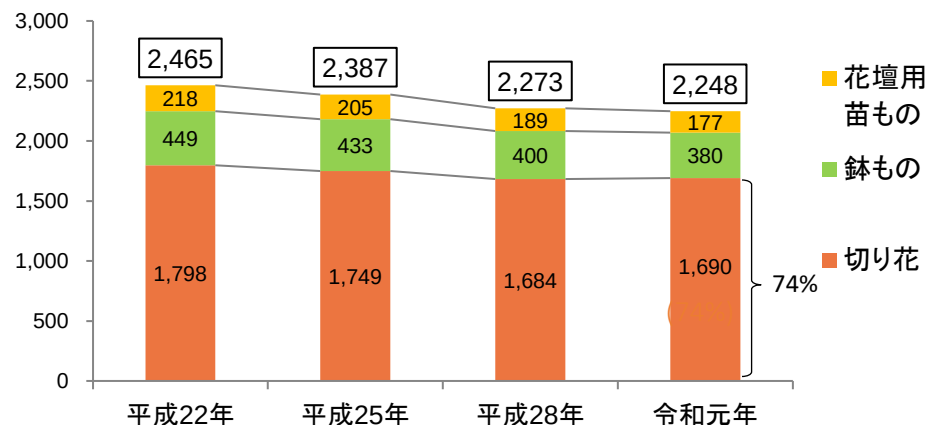
3 花きの作付(収穫)面積の推移

- 東海地域の花きの作付(栽培)面積は、10年間で約1割減少しており、主産地の愛知県(6%減)に比べ、岐阜県(15%減)と三重県(22%減)の減少割合が大きくなっている。
- また、品目別の作付(栽培)面積の推移を見ると、各品目とも減少している。

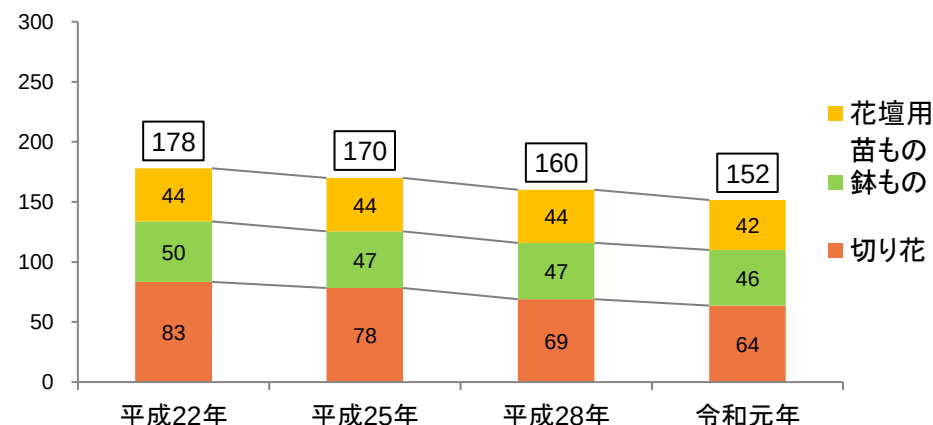
■花きの作付(収穫)面積の推移

※ 統計上の面積表記は、切り花は「作付面積」、鉢もの、苗ものは「収穫面積」を使用

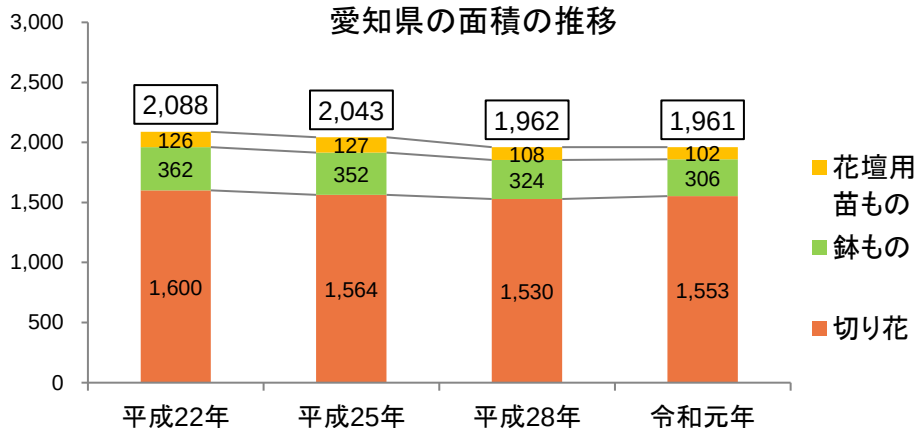
東海地域の面積の推移



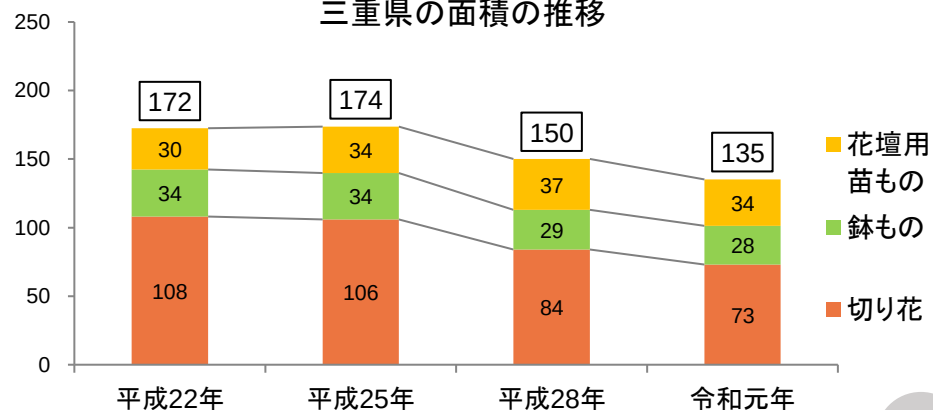
岐阜県の面積の推移



愛知県の面積の推移



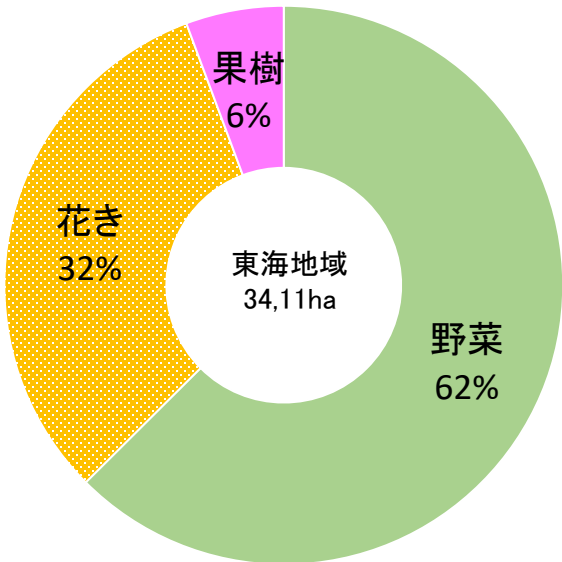
三重県の面積の推移



4 花き園芸施設の設置状況

- 東海地域の園芸用施設のうち、花き園芸施設の面積は1,085haであり、全体の32%を占めている。
- 東海地域の花きは施設栽培の割合が高く、ガラス室の設置面積は全国の約半数を占めている。また、加温設備の導入割合が全国と比較して高い。

■園芸用施設の設置実面積の構成



■花き園芸施設の設置実面積(ガラス室・ハウス別)

		(単位: ha)	
		合計	
			ガラス室 ハウス
東海地域		1,085	390 695
	岐阜県	63	15 47
	愛知県	974	358 616
	三重県	48	17 31
全国		5,718	786 4,932
東海のシェア(%)		19	50 14

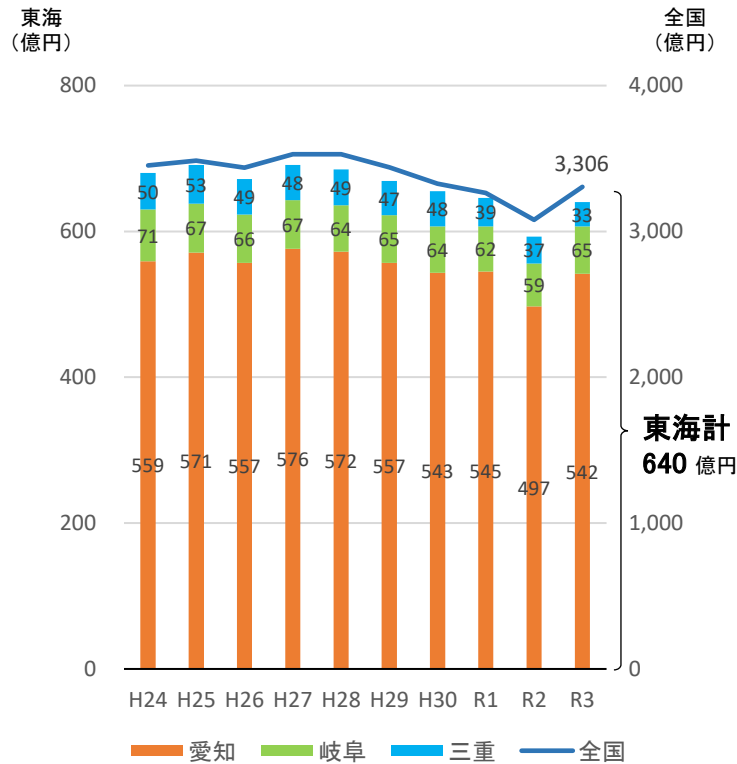
■花き園芸施設の構造材の種類別等の設置実面積

		(単位: ha)							
		園芸用施設面積							
			鉄骨	割合	金属パイプ等	割合	加温設備	割合	
									環境制御 割合
東海地域		1,085	923	85%	162	15%	869	80%	60 6%
	岐阜	63	38	60%	25	40%	33	52%	1 2%
	愛知	974	851	87%	123	13%	789	81%	56 6%
	三重	48	34	71%	14	29%	47	98%	4 8%
全国		5,718	2,718	48%	2,901	51%	3,451	60%	183 3%

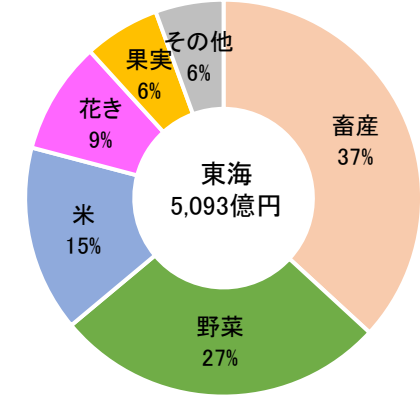
5 花きの産出額

- 東海地域の花きの農業産出額は、近年漸減傾向で推移しており、令和3年は640億円で、農業産出額全体の9%を占めている。
- また、国内最大の産地である愛知県は、東海地域の85%、全国の17%を占めている。
- 品目別には、愛知県のきく、観葉植物がそれぞれ全国シェア3割以上を占めている。

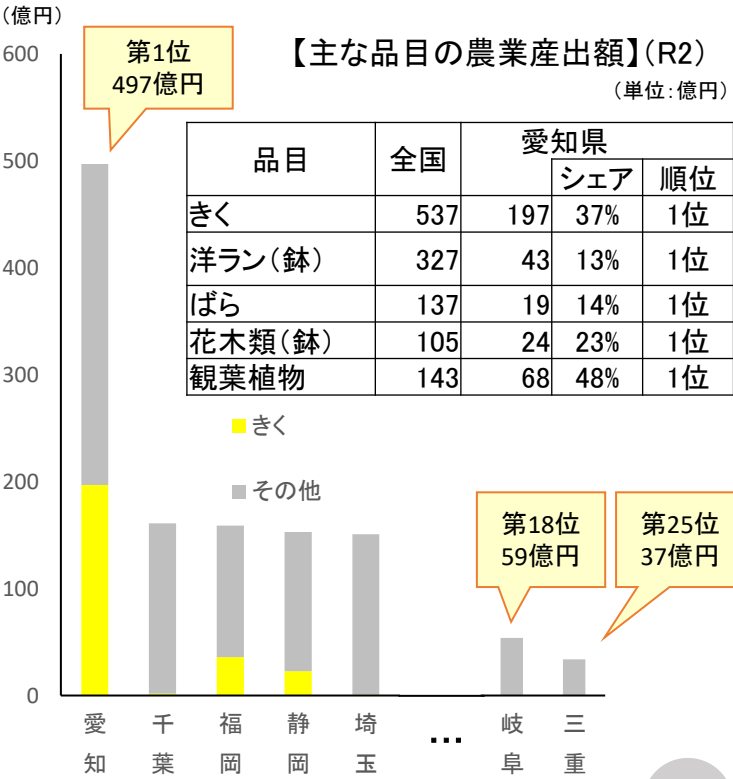
■花きの農業産出額の推移



■農業産出額構成割合(R3)



■花きの農業産出額県別シェア(R2)

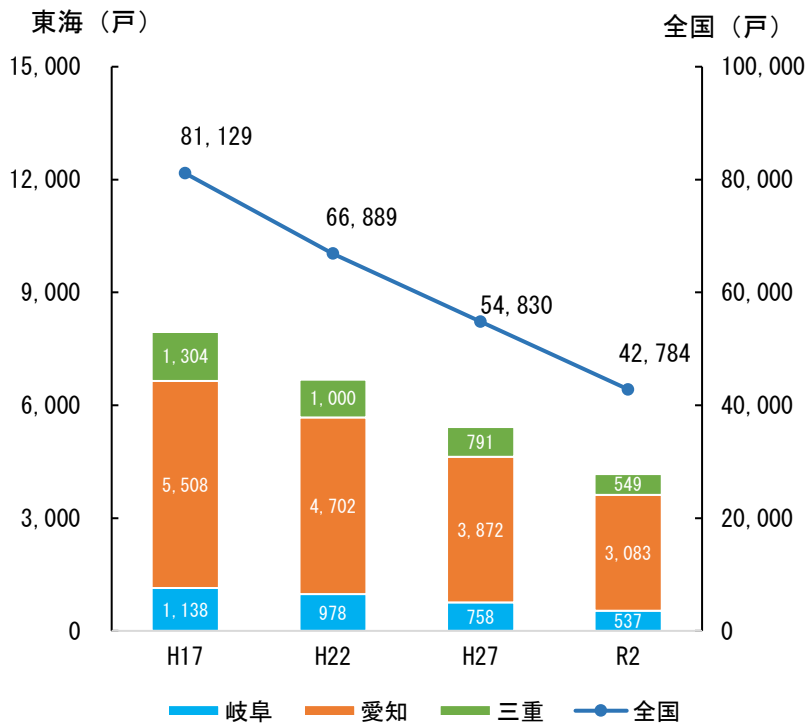


資料：農林水産省「生産農業所得統計(R2、R3第1報)」

6 花きの担い手

- 東海地域の花き経営体数は、15年間で約5割減少している。
- また、基幹的農業従事者の年代構成を見ると、東海地域全体のうち34%が59歳未満となっており、他の作物に比べ、花きにおいては、若い農業従事者の割合が高くなっている。
- 県別には、花きの国内最大の産地愛知県は、59歳未満の割合が他県に比べ大きい。

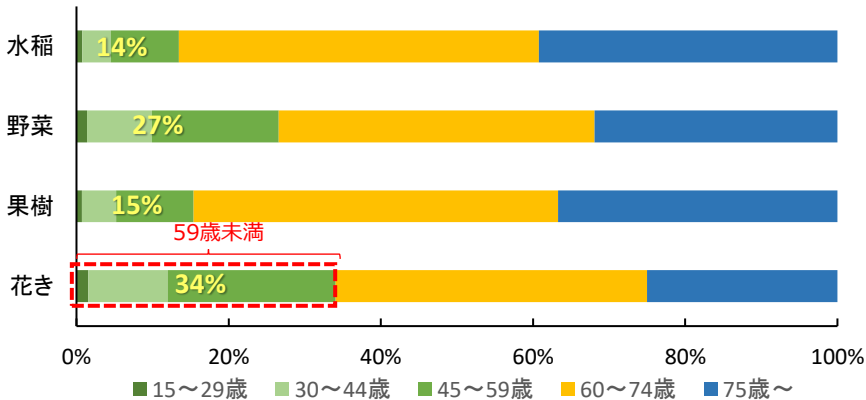
■販売目的の花き・花木作付(栽培)経営体数の推移



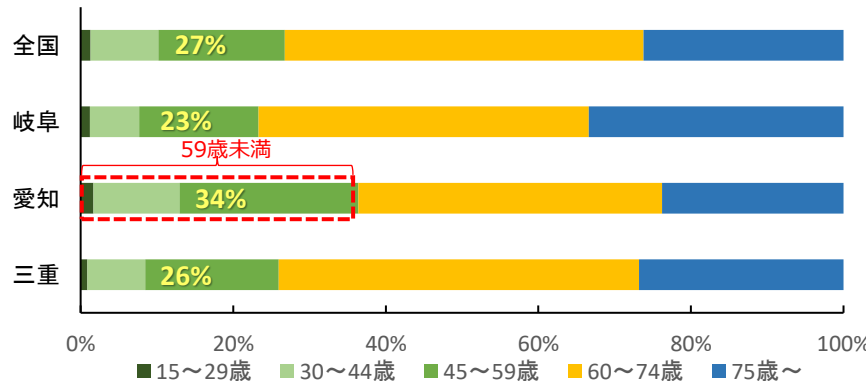
(注)経営体数とは、調査期日前1年間に販売を目的として露地又は施設に花き又は花木を栽培した農業経営体及び販売農家をいう。

資料:農林水産省「世界農林業センサス(2010)」 「農林業センサス(2005)(2015)(2020)」

■東海地域の基幹的農業従事者の年代構成(作物別)



■東海3県の花きの基幹的農業従事者の年代構成(県別)



(注)基幹的農業従事者とは、農業就業人口のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員をいう。

資料:農林水産省「農林業センサス(2020)」

7 花きの収益性

- 東海地域の花き作経営体の収益性(平成28年)は、粗収益、所得ともに全国平均の約2倍となっている。また、粗収益に占める施設栽培の割合が98%とかなり大きいことが、東海地域の経営の特徴となっている。
- 農業経営費において光熱動力費の占める割合が最も多く、燃油価格の高騰に影響を受けやすい。

■花き作個別経営の収益性

(単位:千円、a)

	農業粗収益	農業経営費	農業所得		経営耕地面積10a 当たり農業所得	経営耕地 面積
東海	21,210	14,365	6,845	(32%)	619	111
全国	12,097	8,310	3,787	(31%)	184	206

(参考)野菜 (単位:千円、a)

	農業粗収益	農業経営費	農業所得		経営耕地面積10a 当たり農業所得	経営耕地 面積
東海	13,193	7,917	5,276	(40%)	539	98
全国	12,814	7,291	5,523	(43%)	207	266

■花き作個別経営体(1経営体)の露地・施設別農業粗収益

(単位:千円)

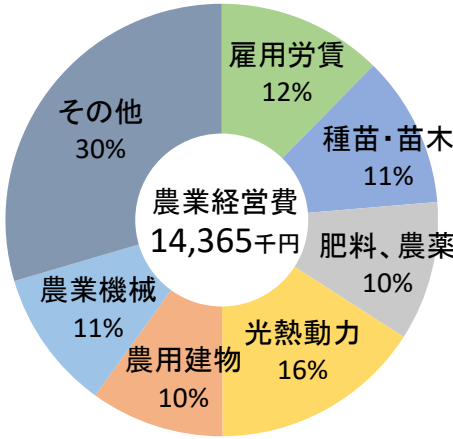
	農業粗収益	花き			その他
		花き	露地	施設	
東海	21,210	20,768	435	20,333	442
全国	12,097	10,370	2,269	8,101	1,620

(参考)野菜 (単位:千円)

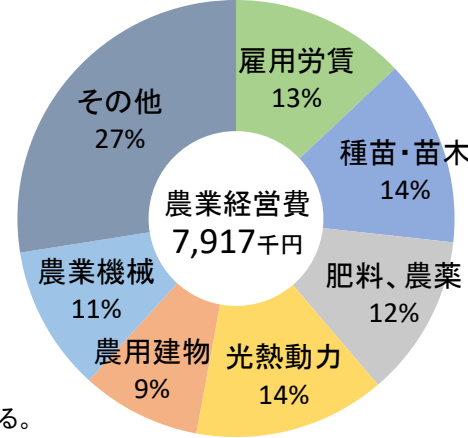
	農業粗収益	野菜			その他
		野菜	露地	施設	
東海	13,193	12,839	118	12,721	351
全国	12,814	10,395	718	9,677	2,228

(注)花き作経営とは、花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入に比べて最も多い経営をいう。
資料:「東海農林水産年報」(H28年産)東海農政局統計部 ※数値はラウンドのため、表中合計が内訳と合わない場合がある。

■東海地域の花き作個別経営の農業経営費の構成



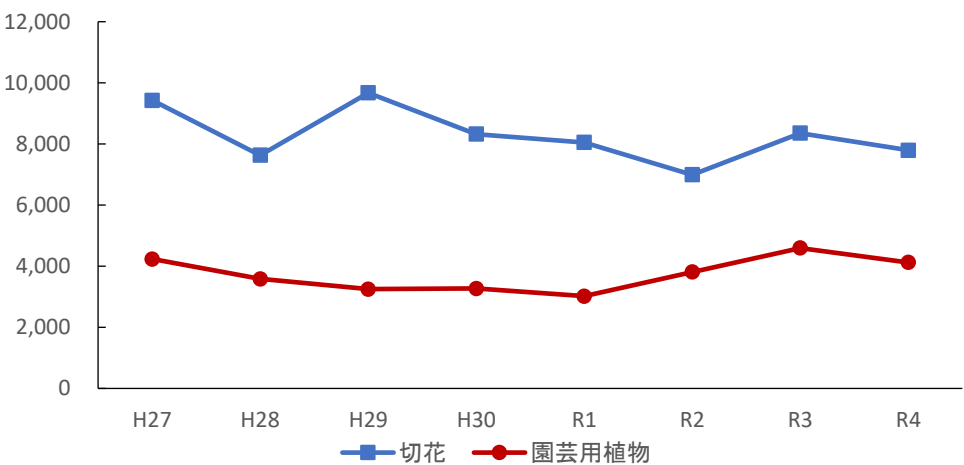
(参考)野菜作個別経営の農業経営費の構成



8 花きの消費

- 1世帯当たりの園芸用植物の支出金額は、新型コロナウイルス流行の令和2年以降、巣ごもり需要などで支出額がわずかに増加している。
- 令和3年の1世帯当たりの切り花・園芸用植物の購入金額は津市が全国1位、岐阜市が19位、名古屋市が37位となっている。

■ 1世帯当たりの切り花・園芸用植物の支出金額の推移



■ 1世帯当たりの切り花・園芸用植物の支出金額(R4)
(単位:円)

		合計			
		切り花		園芸用植物	
		金額	全国順位	金額	全国順位
東海地域		11,920	—	4,123	—
	岐阜市	11,202	26位	3,793	14位
	名古屋市	8,722	29位	1,686	43位
	津市	15,835	11位	6,891	1位
全国		11,333	—	3,476	—

■ 全国順位(切り花・園芸用植物合計)(R4)

順位(前年順位)	都道府県	金額
1(9)	津市	15,835
2(17)	鹿児島市	15,184
3(16)	京都市	14,978
4(2)	福島市	14,808
5(31)	大津市	14,126
6(39)	静岡市	13,672
7(6)	和歌山市	13,610
8(42)	徳島市	13,306
9(14)	富山市	13,011
10(11)	高松市	12,883
...		
19(1)	岐阜市	11,202
37(38)	名古屋市	8,722

資料:総務省「家計調査」(家計収支編 総世帯)

(参考)

東海地域花き普及・振興協議会の概要

1. 協議会の設立の経緯

平成2年に大阪で国際花と緑の博覧会が開催されたことを契機に、平成3年5月に本協議会が設立されました。本会は、東海地域の花きの生産振興、流通の円滑化及び需要の拡大等を図ることにより、潤いのある豊かな社会の実現と花き産業の発展に寄与することを目的としています。

2. 協議会の構成員

当協議会は、正会員及び特別会員で構成されています。

正会員

- ① 東海地域の花き関係生産者及び生産者団体
- ② 東海地域で事業活動を行う花き卸売業者
- ③ 東海地域で事業活動を行う花き販売・リース団体
- ④ 本会の趣旨に賛同する者

特別会員

東海地域の公的機関

3. 主な協議会の活動実績

- ① 関東東海花の展覧会、管内及び会員主催の品評会・展覧会への表彰事業
- ② 管内各県における「花育」、「フラワーバレンタイン」に対する助成事業
- ③ 管内花き関係者に対する研修会、東海地域花きセミナー
- ④ 夏休み親子花育セミナーの東海農政局との共催



令和4年度の親子花育セミナーの様子
(上: 寄せ植え体験、豊明市、下: 模擬せり体験、名古屋市)